

## 法隆寺周辺の観光拠点として新たな観光スタイルが生まれる予感

門前宿 和空 法隆寺 奈良県斑鳩町

### ■法隆寺周辺の規制緩和第1号ホテルが誕生

2019年6月、国は「観光ビジョン実現プログラム2019」を策定し、「泊まって楽しむ体験型宿泊コンテンツ」の一つとして「寺泊<sup>てらぼく</sup>」の推進を追加した。既に全国各地では、寺社の宿坊などを活用したユニークな取組が広がりつつある。2019年9月に法隆寺の参道にオープンした門前宿「和空 法隆寺」も、そうした取組の一つといえよう。

2014年、斑鳩町は法隆寺周辺の観光客の減少を受け、周辺地域の用途制限を緩和。同ホテルはその規制緩和第1号ホテルとなる。運営する株式会社和空プロジェクトは、一般社団法人全国寺社観光協会<sup>\*1</sup>の監修のもと、寺社の宿坊開発・運営、寺社コンサルティング等を行い、「和空 法隆寺」は同社の「参道活性プロジェクト」第1弾となる。

※1：「寺社観光」の視点から伝統的寺社の存続・繁栄の一助となるべく設立。2018年、第2回「はなやか KANSAI 魅力アップアワード～関西インバウンド大賞～」(関西経済連合会) 特別賞を受賞。

### ■和文化体験も楽しめる新たな観光拠点

同ホテルは西方館、東方館の2階建2棟で構成されており、館内は和みの和空間を演出。畳敷きにローベッドを配置した和モダンな客室を60室備えている。館内の特設ルームでは茶道・華道・書道・香道などの「和カルチャーの“いろはのい”体験」を提供。東方館1階の「法隆寺 Gallery BAR」には、奈良や法隆寺の歴史を学べる書籍が書棚に並び、夜になると地酒、地ビール、ワインなどを味わいながら、仏像マニアのスタッフによる仏像トークなどを楽しむこともできる。

食事は「全日本調理師協会名誉会長」で大阪・北新地の「神田川本店」を仕切る料理人、神田川<sup>としろう</sup>俊郎氏が監修。大和野菜や大和牛、大和肉鶏など地域の食材を活かした懐石料理を提供する。

従来は多くの観光客がバスや車の停まる駐車場

と法隆寺を往復するのみだったが、今後は同ホテルを拠点に、シニアやコアな歴史ファンが法隆寺やその周辺の街並みをゆっくり楽しむ、といった新たな観光スタイルが生まれることも期待される。

### ■「寺社観光」の新たな可能性

株式会社和空プロジェクトは、寺の宿坊を1棟貸切タイプで提供する「和空 三井寺<sup>みいでら</sup>」(滋賀県大津市)や、近隣の寺と連携し朝<sup>あさ</sup>勤<sup>ごんぎょう</sup>行<sup>したでらまち</sup>の体験なども提供する「和空 下寺町」(大阪市天王寺区)も運営しており、「和空 法隆寺」は3軒目の宿。各地域や寺の特色に応じた運営を行っている。

また、協力会社の株式会社和空は、宿泊できる寺のWeb検索・予約サービス「テラハク」や、寺の空間でグランピング<sup>\*2</sup>を体験できる「寺ンピング」等を提供。参拝者や檀家の減少により存続が危ぶまれる全国の寺社を、「寺社観光」という視点で見つめ直し地域の活性化に結びつける取組みが、今後さらなる広がりを見せそうだ。

※2：「グラマラス(魅惑的な)」と「キャンピング」を合わせたヨーロッパ発祥の新しいスタイルのキャンプ。

(前田 徹)



街並みに溶け込む落ち着いた外観(左)、和モダンな客室(右上)、法隆寺 Gallery BAR(右下)

### 門前宿 和空 法隆寺

〒636-0116 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺1丁目5番32号  
TEL: 0745-70-1155 FAX: 0745-70-1188  
URL: <http://waqoo-horyuji.com/>

### (運営会社) 株式会社和空プロジェクト

〒530-0044 大阪市北区東天満1丁目11番13号  
AXIS 南森ビル11階  
TEL: 06-4801-8211 FAX: 06-4801-8221  
URL: <http://waqoo-pj.jp/>